

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社paperboy&co.

コード番号 3633 URL <http://www.paperboy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営管理本部長 (氏名) 久保田 文之

TEL 03-5456-3021

四半期報告書提出予定日 平成24年5月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	929	10.6	171	0.8	180	△4.5	104	△4.1
23年12月期第1四半期	840	12.9	170	14.4	188	26.7	109	24.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	78.88	78.61
23年12月期第1四半期	82.25	81.71

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	2,920	1,322	1,322	1,390	45.3	996.69
23年12月期	3,001	1,390	1,390	1,390	46.3	1,047.49

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,322百万円 23年12月期 1,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	130.00	130.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	135.00	135.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,840	8.5	340	4.0	340	△4.8	199	△3.0	149.96
通期	3,800	11.2	760	16.2	760	7.1	445	8.1	335.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年4月27日開催の取締役会において、会社分割による100%子会社を設立することを決議したことにより、同社は平成24年6月に当社の連結子会社になる予定であります。これにより、当社は平成24年12月期第2四半期決算から、連結決算へ移行する予定であります。なお、平成24年12月期通期の連結業績予想につきましては、上記の個別業績予想の数値から変更はありません。詳しくは本日発表の「会社分割(簡易新設分割)による子会社設立に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期1Q	1,327,200 株	23年12月期	1,327,200 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期1Q	194 株	23年12月期	194 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	1,327,006 株	23年12月期1Q	1,326,939 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済状況は、東日本大震災の影響からも緩やかに持ち直しの動きが見られるようになりました。また、昨年来の欧州債務危機の懸念が弱まり、円安・株高が進むなど明るい兆しはあるものの原油価格の上昇や在庫調整の長期化などにより引き続き景気の先行きは不透明な状況となっております。

国内におけるインターネットビジネスの市場は、スマートフォンの普及に伴う通信や情報サービスの需要が引き続き好調に推移し、特にSNSやスマートフォン向けアプリ、電子書籍などのデジタルコンテンツ市場の拡大が予想されます。

このような事業環境のもと、当社においては各サービスでスマートフォン向けの機能拡充や割引キャンペーンなどが奏功したことで契約件数が伸び、当第1四半期累計期間は売上高・利益共に堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高929,539千円（前年同四半期比110.6%）、営業利益171,580千円（前年同四半期比100.8%）と増収増益となったものの、前年同四半期に営業外収益として計上した受取配当金が減少したため、経常利益180,032千円（前年同四半期比95.5%）、四半期純利益104,668千円（前年同四半期比95.9%）となりました。

（セグメント別の状況）

①ホスティング事業

ホスティング事業については、レンタルサーバー各サービスにおいて割引キャンペーンを展開したことにより、当第1四半期累計期間のレンタルサーバー契約件数は351,000件（前四半期比8,000件増）となりました。また、レンタルサーバー契約件数の順調な増加に伴い、ドメインサービスも堅調に推移し、登録ドメイン数は、776,000件（前四半期比26,000件増）となりました。

また、新しい顧客層の開拓を目指して、新規サービスおよび新機能について開発・投資を進めております。

この結果、当第1四半期累計期間におけるホスティング事業の売上高は648,711千円（前年同四半期比103.8%）、セグメント利益は206,391千円（前年同四半期比94.6%）となりました。

②EC支援事業

EC支援事業については、ユーザーからの要望が高かった決済機能の追加・改善や決済画面のスマートフォン最適化など、商品購入者を増やす施策を推進したことにより、当第1四半期累計期間の「カラーミーショップ」契約件数は36,800件（前四半期比800件増）、「カラメル」の出店店舗数は18,600件（前四半期比500件増）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間におけるEC支援事業の売上高は206,606千円（前年同四半期比130.4%）、セグメント利益は111,329千円（前年同四半期比134.9%）となりました。

③コミュニティ事業

コミュニティ事業は、会員数1,700,000名にのぼるブログサービス「JUGEM」において、アニメ・声優専門の情報メディア「Jアニ!」を提供し、認知度の向上、PVの増加を図りました。また、有料プラン「JUGEM PLUS」では会員のみが利用できるブログデザインのコーディネート機能「JUGEM dress」にてデザイン素材やウェブフォントを追加するなど無料会員との差別化を図り、当第1四半期累計期間の「JUGEM PLUS」契約件数は19,300件（前四半期比500件増）となりました。

ブックレビューコミュニティサイト「ブクログ」についても、本や雑誌などの話題性のある企画を展開し知名度向上を図っており、会員数499,000名（前四半期比32,000件増）と順調に推移しております。

また、電子書籍市場の拡大を見越した電子書籍作成・販売プラットフォーム「パプー」への戦略的投資も継続的に行っております。

以上のように有料サービス・無料サービス共にユーザー数は増加し、スマートフォン向けの広告を中心にサービス全体の広告売上が堅調に推移した結果、当第1四半期累計期間におけるコミュニティ事業の売上高は74,220千円（前年同四半期比129.4%）、セグメント損失は940千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は2,920,478千円（前事業年度比80,965千円の減少）となりました。主な要因は、売上及び利益の増加による「売掛金」の増加44,027千円、前期に係る剰余金の配当及び法人税等の納税による「現金及び預金」の減少146,853千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は1,597,864千円（前事業年度比13,557千円の減少）となりました。主な要因は、会員数等の増加に伴う「前受金」の増加62,676千円、前期に係る法人税等の納税による「未払法人税等」の減少117,400千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,322,613千円（前事業年度比67,407千円の減少）となりました。主な要因は、剰余金の配当により172,510千円減少したものの当四半期純利益104,668千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて146,853千円減少し、1,639,431千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは87,862千円の増加（前年同期間は192,482千円の増加）となりました。これは主に、有料会員数等の増加等に伴う売上債権の増加による44,027千円の減少、前事業年度に係る法人税等の支払による187,781千円の減少、有料会員数増加に伴う前受金の増加による62,676千円の増加や減価償却費25,474千円及び税引前四半期純利益180,032千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは70,256千円の減少（前年同期間は32,272千円の減少）となりました。これは主に、サービス用サーバー投資など有形固定資産の取得に関する支出が36,935千円、自社利用サービスのソフトウェア開発投資など無形固定資産の取得に関する支出が20,619千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは164,458千円の減少(前年同期間は159,142千円の減少)となりました。これは、配当金の支払いによる支出が164,458千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、平成24年1月31日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,786,284	1,639,431
売掛金	439,274	483,302
前払費用	29,332	39,375
その他	163,182	125,157
貸倒引当金	△1,868	△2,346
流動資産合計	2,416,205	2,284,921
固定資産		
有形固定資産	151,964	169,147
無形固定資産	114,563	129,625
投資その他の資産	318,709	336,783
固定資産合計	585,237	635,556
資産合計	3,001,443	2,920,478
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	185,000	67,600
賞与引当金	—	6,200
役員賞与引当金	—	4,900
前受金	952,200	1,014,876
その他	461,729	491,750
流動負債合計	1,598,930	1,585,327
固定負債		
資産除去債務	12,491	12,537
固定負債合計	12,491	12,537
負債合計	1,611,422	1,597,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,867	120,867
資本剰余金	110,867	110,867
利益剰余金	1,158,803	1,090,960
自己株式	△517	△517
株主資本合計	1,390,021	1,322,178
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	435
評価・換算差額等合計	—	435
純資産合計	1,390,021	1,322,613
負債純資産合計	3,001,443	2,920,478

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	840,792	929,539
売上原価	391,104	433,468
売上総利益	449,688	496,070
販売費及び一般管理費	279,470	324,489
営業利益	170,217	171,580
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	17,430	996
匿名組合投資利益	814	9,562
その他	29	328
営業外収益合計	18,275	10,890
営業外費用		
投資有価証券評価損	—	1,137
その他	—	1,300
営業外費用合計	—	2,437
経常利益	188,493	180,032
特別損失		
固定資産除却損	18	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,494	—
特別損失合計	5,512	—
税引前四半期純利益	182,980	180,032
法人税、住民税及び事業税	78,158	64,863
法人税等調整額	△4,312	10,501
法人税等合計	73,846	75,364
四半期純利益	109,133	104,668

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	182,980	180,032
減価償却費	26,495	25,474
固定資産除却損	18	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,137
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,600	6,200
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000	4,900
匿名組合投資損益(△は益)	△814	△9,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	477
受取利息及び受取配当金	△17,432	△998
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,494	—
売上債権の増減額(△は増加)	△22,447	△44,027
前渡金の増減額(△は増加)	—	26,016
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△90	△8,059
前受金の増減額(△は減少)	41,745	62,676
その他の流動負債の増減額(△は減少)	51,469	30,281
その他	325	98
小計	286,344	274,645
利息及び配当金の受取額	17,432	998
法人税等の支払額	△111,294	△187,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,482	87,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,961	△36,935
無形固定資産の取得による支出	△18,310	△20,619
投資有価証券の取得による支出	—	△10,146
関係会社株式の取得による支出	—	△5,100
敷金及び保証金の回収による収入	—	5,744
その他	—	△3,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,272	△70,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△159,142	△164,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,142	△164,458
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,067	△146,853
現金及び現金同等物の期首残高	1,630,273	1,786,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,341	1,639,431

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、個人向けにインターネットサービスを提供しており、「ホスティング事業」「EC支援事業」「コミュニティ事業」の3つを報告セグメントとしております。「ホスティング事業」では、主にサーバーを提供するレンタルサーバーサービスやドメイン取得や活用に関わるドメイン取得サービスを提供しており、「EC支援事業」では、主に電子商取引の運営を支援するオンラインショップ構築サービス及びオンラインショッピングモールを提供しており、「コミュニティ事業」では、ブログやSNSなどインターネット上でのコミュニケーションを軸とするサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額合計 (注) 2
	ホスティング 事業	EC支援事業	コミュニテ ィ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	648,711	206,606	74,220	929,539	-	929,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	648,711	206,606	74,220	929,539	-	929,539
セグメント利益	206,391	111,329	△940	316,780	△145,200	171,580

(注) 1 セグメント利益の調整額△145,200千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(会社分割)

当社は、平成24年4月27日開催の取締役会にて、ブックレビューコミュニティサイト（ブクログ）運営事業及び電子書籍作成・販売プラットフォーム（パプー）運営事業からなる電子書籍関連事業に関する権利義務を、分割により新たに設立する会社に承継させる会社分割を実施することを決議しました。

(1) 会社分割の目的

電子書籍関連事業においては、昨今新しいサービスや技術が続けざまに発表され、今後も更なる競争環境の激化が見込まれております。このような状況において、変化の激しい経営環境に対応していくためには、より迅速な意思決定が不可欠と判断し、当該事業を分社化することにしました。

(2) 会社分割の形態

当社を分割会社とし、分割により設立する新会社に本件事業に関して有する権利義務を承継させる新設分割です。なお、本会社分割は、会社法第805条に定める簡易分割に該当するため、株主総会の承認を得ずに行います。

(3) 会社分割の要旨

① 会社分割日

平成24年6月1日（予定）

なお、会社分割により新設会社に承継させる資産の帳簿価額の合計額は、当社の総資産額として会社法施行規則第207条で定める方法により算定される額の5分の1を超えないため、新設分割は、会社法第805条に基づき、株主総会の決議による新設分割計画の承認を受けずに行います。

② 分割に係る割当ての内容

新設会社は、会社分割に際し、普通株式1,000株を発行し、当社に対し、新設分割により当社から承継する権利義務に代えて、当該発行株式のすべてを割り当て交付し、当社の100%子会社となります。

③ 新設会社が承継する権利義務

新設会社は、新設分割により、当社から、新設会社の成立の日において本件事業に属する資産、負債及び契約上の地位及び権利義務を承継します。なお、新設会社が新設分割により当社から承継する債務は、本件新設会社が重畳的にこれを引き受けます。

(4) 会社分割する事業の経営成績

直前事業年度（平成23年12月期）における売上高 15,922千円

(5) 分割する資産、負債の項目及び金額

資産	金額（千円）	負債	金額（千円）
流動資産	42,890	流動負債	3,337
固定資産	10,447	固定負債	-
合計	53,337	合計	3,337

(注)平成24年3月31日現在の分割会社の貸借対照表を基礎としており、これに効力発生日（平成24年6月1日）までの増減を加除したうえで確定します。

(6) 株式の割当

新設会社が発行する普通株式1,000株のすべてを当社に割当て交付します。

(7) 会社分割に係る新設会社の概要

	新設分割設立会社
名称	株式会社ブクログ
所在地	東京都渋谷区桜丘町2-6-1
代表者の役職氏名	代表取締役 吉田健吾
事業内容	電子書籍関連事業
資本金	50,000千円(設立時資本金)
設立年月日	平成24年6月1日
発行済株式数	1,000株(設立時発行予定株式数)
決算期	12月31日
大株主及び持株比率	株式会社paperboy&co. 100%

5. 補足情報

(1) 事業部門別売上高

当事業年度における事業部門別の販売高は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

セグメントの名称	前第1四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月30日)		前年同 四半期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ホスティング事業	624,924	74.3	648,711	69.8	103.8
EC支援事業	158,491	18.9	206,606	22.2	130.4
コミュニティ事業	57,376	6.8	74,220	8.0	129.4
合計	840,792	100.0	929,539	100.0	110.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) サービス別契約件数

当事業年度における主要サービス別契約件数は以下のとおりです。

事業部門	平成23年 第1四半期 (件)	平成23年 第2四半期 (件)	平成23年 第3四半期 (件)	平成23年 第4四半期 (件)	平成24年 第1四半期 (件)	前年同 四半期比 (%)
レンタルサーバー(注1)	321,000	328,000	335,000	343,000	351,000	109.3
ムーブドメイン	699,000	701,000	727,000	750,000	776,000	111.0
カラーミーショップ	31,700	32,900	34,100	36,000	36,800	116.1
JUGEM PLUS(注2)	16,700	17,400	18,100	18,800	19,300	115.6

(注) 1 レンタルサーバーは「ロリポップ!」「へテムル」「プチ・ホームページサービス」の合算です。

2 「JUGEM PLUS」は、無料ブログ「JUGEM」の有料版サービスです。